

## 「まぐれ」と「たまたま」(後編)

二週間のご無沙汰でした。寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。さて今回は「まぐれとたまたま」の後編です。今回は身近な事例でお届けします。前編を読んでいないぞ、という方はこちらからどうぞ <http://r-research.co.jp/pdf/nl149.pdf>



身近なところでは日経新聞の「私の履歴書」があります。主に経済界の重鎮の生い立ち、会社人生、リタイア後の人生を振り返るコーナーでとても人気があります。私はあまりよく読みませんが、よくもまあ昔のことを覚えているものです。中身を読むとけっこう「たまたま」「運がよい」という文章にぶつかります。同期で入った新入社員のうちのトップになるのですからよほどの人なのでしょう。社長となると5年に一回交代位でしょうか。同期が1000人いたとしたら5000分の一です。



つい最近話題になった三井物産の社長(54歳)は32人抜きとのことですのでものすごい確率です。実力はもちろんのこと様々な「まぐれ」や「たまたま」があったのではないのでしょうか。実はこれを調べるにあたって日経新聞のサイトで就任のあいさつの動画を見つけました。どこにでもいそうなおじさんで、凄さや鋭さは見られず、どうしてこの人なんだろう(笑)。

「私の履歴書」ですが、先日まではソフトバンクホークス球団会長の王さんでした。王さんは中学生のころにあったあるエピソードを紹介しています。近所の野球チームで草野球をしていたところ、自転車に乗った見ず知らずの人から「僕、どうして左で打たないの?」と言われたそうです。今の時代なら不審者として通報されるかもしれません^^;。結局次の打席から左打席で打ったところ面白いほど長打が打てるようになったそうです。実はこの人、王さんのプロ入り後、不振を極めていた彼に「一本足打法」を二人三脚で教えてくれた荒川コーチでした。本当にたま



たま散歩をしていたところでした。もし、草野球をたまたま見ている荒川さんが一

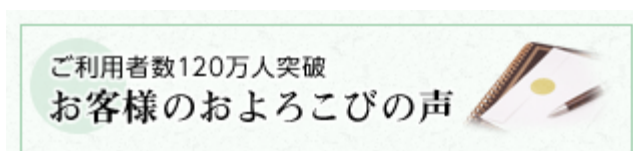
言をかけなければその後の王さんの国民的スターとしての地位はなかったかもしれません。コーチとしての引退後も少し調子が落ちると訪ねたそうです。荒川さんもそのことは覚えていて左投げなのになぜ右で打っているのか、と思って口に出してただけだそうです。偶然ですが早稲田実業のOBでした。もちろん面識は一切ありません。

ちょっと理論編になるのですが、生存バイアスでは結果を見るのではなくてその頂点に至らなかった母数の大きさに注目すべきということになります。「ある人が過去に利益を出したという情報は、それ自体では意味もないし関係もない。知る必要があるのは、当初その人が属していた母集団がどれだけの大きさだったかということだ」王選手や長嶋さんにあこがれた同年代なんて数百万人の単位でしょう。




もう少し身近な例を続けます。私はかねがね世の中の健康食品

を胡散臭い



目で見えていました。特に体験者の言葉。

嘘でしょう、と見ていたのですが。タレブの本に接してからは考え方が変わりました。おそらくどの健康食品にもたまたま体質が合う人がいて、まったく効果のなかった数千人の情報が隠され

ているのだと。私自身もあります。  という陸上競技の選手がつけているネックレスですが、私には劇的な効果がありました。悩まされていた肩こりがほとんど感じないまでに改善されました。あまりにすごいので周りの人に勧めましたが、10年以上たった今そのネックレスをかけ続けているのは私だけです。いや、効くんですけどねえ。だったら外してみても肩こりが復活するかどうかを対照実験してみるとという声が聞こえそうですが、お断りします。外して肩こりが復活したらどうしてくれるんですか？（笑）。

閑話休題。私の趣味のひとつにオーディオがあります。機器も大事なのですが、電源ケーブルや



インシュレーターと呼ばれるアクセサリーの世界があります。機器の本来の脚を使わずにこいつをアンプ等の脚として使います。この世界のカリスマと呼ばれている人がカイザーサウンドの貝崎さん。怪しい、アクセサリーの中でも最も怪しい。しかしこのインシュレーターを機器の下に置くと音質が向上します。また置き方によって出る音の調整も可能です。嘘

くさいんですが、本当です。また先日吉祥寺の JAZZ 喫茶メグで貝崎さんのデモンストレーションがありました。350 万円もするスピーカーをバラバラにして最適な条件を探す。ユニットの方向を変えてやる。ネジの場所の組み合わせを変える。それで音がよくなる。そんな馬鹿な。しか



し、見事に音が変わった。キレがいい。貝崎さんによると「長いことやっている中で偶然に見つけたことばかり。インシュレーターもたまたま半田を流し込んだら結果がよかったことから思いついた。そうしたら人間の歯茎の構造によく似たものが出来上がった。理論は後付けです」おそらく数千もしくは数万回の実践の中でたまたま見つけたものなのでしょう。ただの「まぐれ」や「たまたま」に出会ったときにその発見を活かすことができる人は少ないと思います。見つけたものを執念にも似た熱情で商品化した。このインシュレーターは高価です。三つ一組で 1 万円から 10 万円まで。通常オーディオのアクセサリ



ーは に出品すると正価の 10%~20%の値段でしか売れません。ところがカイザーサウンドのインシュレーターは正価の 6 割で売れます。愛好家の間では効果が知れ渡っているからです。私自身も 5 組購入していますし、スピーカーの「加速度組み立て」もやってもらいました。だって、よくなるんだから仕方がない。

組み立てに関しては最初は怪しいとは思っていましたが、今オーディオの大先輩としてお付き合いをさせていただいている班目さんという方がいます。東京オリンピック自転車競技で出場。引退してからはナショナルチームの監督として活躍された方です。「自転車は組んでもらう人によってまったく違うものになる。名人に組んでもらうとまったく違った自転車になる」加速度組み立て信じます。自転車もオーディオも同じでしょう。



最後に私の好きな映画のひとつに「バブルへ GO!」という映画があります。広末涼子さん主演でとても楽しい SF コメディです。タイムマシンでバブル崩壊を招いた大蔵省による長期金利の引き上げを阻止しようという内容ですが、結末が秀逸。ベイブリッジは 3 本並列で走り超高層ビルが林立、世界を引っ張る日本経済。「ラモスジャパンがワールド



## カップ連覇に向けて出発

なんてバブルもバブル、またどこかで弾けるんでしょうけど。過去のバブルは全て弾けています。逆に言うと弾けたものをバブルと呼ぶのですが。アベノミクスも何とかバブってほしいものです。

再びタレブの本に戻りましょう。

歴史的に見て「薬」は試行錯誤、つまりは統計で発展してきた。症状と治療の関係は完全に偶然かも知れない、また医学での実験が成功してもそれはたまたまかも知れないということを知っています。悲しいことですが昨年もそんなことがありました。ある最近の論文では、喫煙は乳がんの発生を抑制するという結果が出ていたそうです。論理的にはこの結果は怪しいのですが、単なる偶然なのか。私には判断が付きません。発明は別にしても、発見にはある程度の運が必要でしょう。ググってみました。「雑然とした実験室の中で散乱した培地を廃棄する前にふと見て一面がブドウ球菌の中にアオカビが生息し、その周囲には細菌の発育が阻止されていることに気付いた。アオカビを培養し、培養液のろ過した液に抗菌作用を持つ物質があることを見出し、アオカビの属名 *Penicillium* にちなんで「ペニシリン」と名づけ 1929 年英国実験病理雑誌に発表した」

タレブの本は人生におけるさまざまな偶然や機会にもっと謙虚になろう、とっているように思えます。そしてノイズの嵐の中からかすかに聞こえるシグナル（情報）に騙されないようにと、言っていると感じました。一寸とつつきにくいところはありますが、お奨め本です。哲学の章を私は読み飛ばしました。多分一生懸命読んでもわからないでしょうから。



さて、いかがでしょうか。先日この話を R 社の先輩にしたら「お前は俺のことを運だけでのし上がったというのか」とちょっと怒られました^^;。でももし R 社に入らずにほかの会社だったらどんな人生だったでしょう。そこで江副さんと会わなければどんな人生だったでしょう。結論からいえば分かりません。人生はサンプル 1 ため、一切の予測ができないからです。

今回は 3 月、花粉真っ盛り (T\_T)。お仕事のご発注もお待ちしております。

株式会社アール・リサーチ 代表 柳本信一 Tel 042-300-0533 mobile 090-7428-8999  
mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)